

令和4年度全国大学対抗将棋大会要項

1. 大会概要

名 称	「トリプルアイズ杯争奪 第18回全国大学対抗将棋大会」
主 催	全日本学生将棋連盟
後 援	株式会社トリプルアイズ
協 力	日本アマチュア将棋連盟・さいたま商工会議所
日 程	2022年9月14日(水)～9月16日(金)
会 場	さいたま商工会議所第1・第2ホール http://www.saitamacci.or.jp/page-1181/

2. タイムテーブル

9月13日(火)	18:00～(21:30) 前日準備
9月14日(水)	9:00～ 開場、選手集合 (9:00以前は会場に入れません) 9:30 開会式 9:40 1回戦オーダー提出 (以降オーダー提出は対局開始の10分前とする) 9:50 1回戦対局開始 12:30 2回戦対局開始 14:30 3回戦対局開始 17:00 完全撤収
9月15日(木)	9:00 開場、選手集合 9:40 4回戦対局開始 12:20 5回戦対局開始 14:20 6回戦対局開始 17:00 完全撤収
9月16日(金)	9:00 開場、選手集合 9:40 7回戦対局開始 12:20 8回戦対局開始 14:20 9回戦対局開始 17:15 表彰式・閉会式 18:30 撤収

※今後変更となる場合がある。また、当日の進行により時間が前後する場合がある。

3. 代表大学 (10 校)

北海道地区	北海道大学
東北地区	東北大学
関東地区	(第一代表) 早稲田大学・(第二代表) 東京大学
北信越地区	金沢大学
中部地区	名古屋大学
関西地区	(第一代表) 立命館大学・(第二代表) 京都大学
中四国地区	広島大学
九州地区	九州大学

4. 大会形式

- ①5人制の団体戦とし、代表校10校による総当たりリーグ方式(全9回戦)で行う。
- ②選手の登録人数は八名以内とし、オーダー用紙に補欠選手を含めた大会出場予定の選手を全て書き入れ第一試合のオーダー交換で公開する。以後、登録選手の変更及び付け足しは認めない。
- ③試合は各チームの代表者が自チームの登録選手の中から五名を選出して行う。出場選手の選出は必ずオーダー交換以前に行われなければならない、また出場選手は必ず登録配列順序を守らなければならない。選手の呼称は大将、副将、三将以下数字将とする。
- ④対戦の順番は前回大会の各地区順位に基づき、通常のリーグ対戦法により行う。
- ⑤順位は勝点制に従って決定し、勝点・勝数がともに等しい場合は、前回の地区成績順位に従う。
なお、同一地区の二校で勝点・勝数がともに等しい場合は、春季大会のA級優勝校を優先する。
前回2019年順位は関東、関西、中部、北海道、北信越、東北、九州、中四国の順。
- ⑥先後は大将席の振り駒によって決定する。以下、三将、五将が大将と同じ、副将、四将が大将と逆の先後を得る。

5. 対局規定

- ◆対局者は品位と礼儀を重んじ、見苦しい態度や相手をして不愉快たらしめる言動は慎み正々堂々と対局しなければならない。
- ◆全ての対局はチェスクロックを使用し、持ち時間はいずれも25分切れたら60秒で対局を行う。
- ◆同一局面が四回出現した場合は千日手とする。但し、連続王手の千日手は王手をかけている方が指し手を変えなければならない。
 - ・1度目の千日手が成立した場合、先後を入れ替えてすぐに指し直しとする。
 - ・千日手指し直し局の持ち時間は各対局者の残り時間とする。但し、片方または両方の対局者の持ち時間が10分未満の場合は、少ない方の持ち時間が10分になるよう双方追加する。但し、大会進行に大幅な遅れが生じている場合は、委員長が臨機に判断し追加する時間を変更する。
 - ・千日手指し直し局も千日手となった場合、学生王将戦及び女流名人戦は抽選で勝敗を決定し、学生王座戦は半勝半敗とする。但し、学生王将戦及び女流名人戦の準決勝以降の対局に限り、

勝敗が決するまで指し直す。

- ◆持将棋は大駒を5点、小駒を1点として数え、24点法を採用し双方が条件を満たす場合は半勝半敗とする。なお、判定の時期は大会の進行状況を考慮し運営陣が協議の上決定し裁定を行う。
- ◆禁手を指した者はただちに投了しなければならない。又指した者がそれに気が付かない場合は、対戦者及び記録係又は観戦者がこれを示し、禁手を指した者は直ちに投了しなければならない。但し、対局観戦者のいずれもが対局終了までそれに気が付かなかった場合は、その禁手が試合中に指されたことが明らかにわかる場合を除いて、投了優先として禁手は無効とする。
- ◆着手は動かされた駒が手より離され盤の上に置かれた時とする。但し、駒を盤の上に落とすなどの事故はこの範囲ではない。
- ◆遅刻は10分で負けとする。10分未満の遅刻はその3倍を持ち時間から引いて対局を開始する。
- ◆対局者は対局中全ての電子機器の電源を切る。違反が発覚した場合は、罰則を課す場合がある。
- ◆観戦者の検討ソフトの使用は禁ずる。違反が発覚した場合は、罰則を課す場合がある。
- ◆オーダー表の提出期限は原則対局開始の10分前迄とする。2回の遅刻で次戦0-5負けとする。
- ◆座席の座り順や出場選手の誤りは、発覚次第、対局結果に関わらず当該大学を0-5負けとする。
- ◆その他支障が生じた場合は委員長長の判断を最優先とする。指示に従わない者は参加資格を失う。
- ◆以上の規定の他は、日本将棋連盟の対局規定に従う。

新型コロナウイルス対策について

- ◆密回避のため十分な間隔を保った上で対局スペースおよび待機スペースを確保いたします。
- ◆団体戦においては、例年対局者の周りで戦型チェックや棋譜取りを行ったり、最後に残った1局を大勢で囲んだりすることで密な状態が発生することがあります。それらの対応策として、必要に応じて観戦及び戦型チェックを行う人数や時間帯を制限したり、棋譜取りを対局終了後に自身で記録いただくようお願いしたりすることを検討しております。対局中においても密な状況を作らないよう工夫をいたします。
- ◆参加者へのマスクの着用を義務付けるとともに、会場内のアルコール消毒の設置や換気の実施、運営陣も含めた入場時の検温などを徹底いたします。
- ◆大会で使用する盤・駒・時計等の備品については、定期的に消毒や清掃を実施いたします。
- ◆万が一感染者が発生した場合に備え、参加者名簿を作成することで連絡先等を把握いたします。
- ◆一般の方の観戦は可能です。感染防止対策を講じていただいた上で是非お越しく下さい。